



No. 80

人口の動き	
総 人 口	10,343 人
男	4,647 人
女	5,696 人
世 帯 数	2,460 戸
転 入	48 人
転 出	25 人

(3月末住民登録人口より)

発行／岐阜県川辺町 ■ 編集／川辺町役場総務課 ■ 印刷／中部印刷 KK



ねえ、おかあさん
今日はとってもいい日みたいだね
ほらあんなに青い空
なんだかすいこまれそうだよ
今日からぼくも一年生だね
ぼく一年生らしく見えるかな
胸を張って口をむすんでさ
ランドセルしよつて
そいでもって両手を振って
サッサッサッて歩いたら
ねえ、おかあさん
今日からぼくも一年生だね

(川辺小学校入学式)



毎月第3日曜日は家庭の日です。土に親しみ、野山に出かけよう。

豊かで住みよい町づくり

昭和50年度予算

総額13億982万円に

私は町長就任以来、常に「明るく豊かな住みよい町づくり」を念頭に町政を担当して参りました。今後においてもその考え方においては変わりはございません。

本年度の予算の編成にあたりまして、この基本理念に立脚した上に立って予算の編成にあたつたものであります。

すでに発表になつております政基本構想に基づき、将来を想定し、また社会教育指導員の常置に

たたしておられます。

昭和50年度予算は、一般会計、特別会計、企業会計合わせて、昨年度当初予算を三億三千二百五十二万七千円上回る十三億九百八十二万六千円になりました。

以下町長の施政方針と、歳入歳出のあらましをご紹介して、本年度予算の行方をお知らせします。



有本川辺町長

さる三月十七日から開かれた第一回定期議会において、昭和五十年度予算が成立しました。

本年度予算は、一般会計、特別会計、企業会計合わせて、昨年度当初予算を三億三千二百五十二万七千円上回る十三億九百八十二万六千円になりました。

以下町長の施政方針と、歳入歳出のあらましをご紹介して、本年度予算の行方をお知らせします。

生活安定と福祉の充実を

町長所信表明演説から

こし、生活の安定、福祉の充実を根幹として、基本構想に掲げる目的達成のために消費的支出の圧縮をはかるなどあらゆる努力をしております。

教育の関係では、学校統合の推進を基本姿勢として、教育委員会に対する具体的な推進方法の検討を指示しておりますが少なくとも世論の統一が本年中に得られることが期しております。

そのほか教員住宅の老朽化がめだつて賃貸住宅の建設を計上いたしておられます。

なお、本予算の底流をなすものは、「川辺町の基本構想案」です。

また、社会教育指導員の常置についても検討を進めております。

昭和五十年度予算において、歳入の骨格となる一般財源のうち、私たち町民が直接負担する町税は一千七千八百五十三万一千円で、総収入に占める割合は二〇・九%です。町税については、四十九年後半から事業不振が特にめだち、税の伸びはありません。

さる三月十七日から開かれた第一回定期議会において、昭和五十年度予算が成立しました。

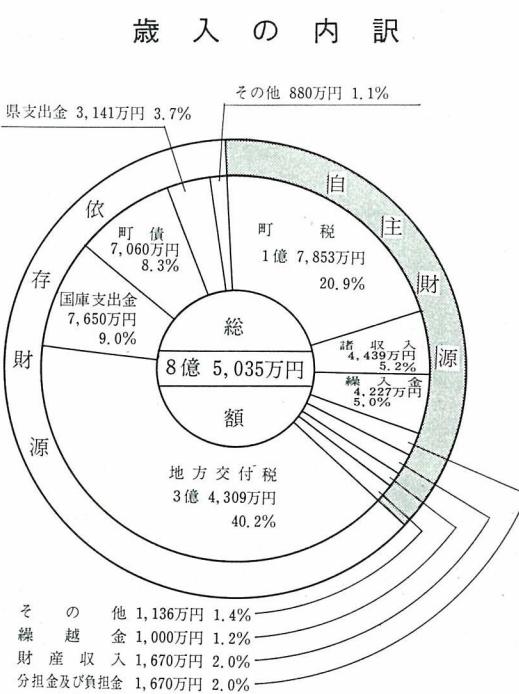
本年度予算は、一般会計、特別会計、企業会計合わせて、昨年度当初予算を三億三千二百五十二万七千円上回る十三億九百八十二万六千円になりました。

以下町長の施政方針と、歳入歳出のあらましをご紹介して、本年度予算の行方をお知らせします。

歳入のあらまし

昭和五十年度予算において、歳入の骨格となる一般財源のうち、私たち町民が直接負担する町税は一千七千八百五十三万一千円で、総収入に占める割合は二〇・九%です。町税については、四十九年後半から事業不振が特にめだち、税の伸びはありません。

そのため、地方交付税三億四千三百九万七千円、国庫支出金七千六百四十九万七千円、町債七千六十万円、県支出金三千百四十万八千円などを計上しています。なおこれらの依存財源は、歳入予算総額の六〇%以上を占めています。



・議会と役場

流域浄水事業の
関連計画

歳出のあらまし

町づくりを進めるための中心となる議会費に一千三百四万七千円そして集中管理部門である総務費に一億四千五百六十三万九千円を計上しました。

おもなものとしては、県が実施する木曽川流域浄水事業に関連して公共下水道の建設計画の調査委

託料及び流域下水事業負担金、統一地方選挙に伴う経費、国勢調査事業所統計、工業統計の費用そして町長主催で行う各種活動のため使われるマイクロバス購入費などがあてられています。

住民福祉の向上は行政最大の目標であり、本年度も積極的に取り組んでいます。幸せは身も心も健康でなければなりません。

老人福祉については、県の進める百歳運動に呼応して、各種機関を通じ強力に推進を図り、あるいはインターネットを取り付けるなど老人福祉の一層の助長を考えています。

また、児童福祉については、第

経済発展の恩恵を十分受けることのできない心身に障害のある方達にあたたかい手をさしのべることであります。そのため本年度も重度心身障害者の医療費の助成化など幅広い対策を講じています。

経済発展の先導的な役割りを果たす道路の整備と保全は、町民生課題です。そのため、今日の福祉行政の中心的課題です。

・土木行政

道路新設改良と比較見住宅総仕上げ

町のみなさんが住みよい生活環境のもとで健康的な、豊かで明るい生活を営むことができるよう、保健衛生の面でも充実した施策を講じています。

とくに、日曜日、祝祭日等一般の病院が休みの場合、特に急を要する重症患者に対処するため加茂休日急救診療所が設置され、健康管理に一層の充実が図られました。

また、経済社会の急激な発展に伴い、廃棄物の処理はますます悪化しており、ゴミ収集処理をはじめ、し尿処理への負担金も含めて健康で明るい町民生活を支えます。なお、国保会計へ六百五十万円の繰出し、水道事業会計へ二千九百九十万七千円を出資しています。

・農林業振興

横谷林道などの林道開設事業

住民福祉の向上は行政最大の目標であり、本年度も積極的に取り組んでいます。幸せは身も心も健康でなければなりません。

老人福祉については、県の進める百歳運動に呼応して、各種機関を通じ強力に推進を図り、あるいはインターネットを取り付けるなど老人福祉の一層の助長を考えています。

また、児童福祉については、第

経済発展の恩恵を十分受けることのできない心身に障害のある方達にあたたかい手をさしのべることであります。そのため本年度も重度心身障害者の医療費の助成化など幅広い対策を講じています。

・社会福祉

第2保育園を増築

託料及び流域下水事業負担金、統一地方選挙に伴う経費、国勢調査事業所統計、工業統計の費用そして町長主催で行う各種活動のため使われるマイクロバス購入費などがあてられています。

・保健衛生

加茂休日急救診療所組合を設置

町のみなさんが住みよい生活環境のもとで健康的な、豊かで明るい生活を営むことができるよう、保健衛生の面でも充実した施策を講じています。

とくに、日曜日、祝祭日等一般の病院が休みの場合、特に急を要する重症患者に対処するため加茂休日急救診療所が設置され、健康管理に一層の充実が図られました。

また、経済社会の急激な発展に伴い、廃棄物の処理はますます悪化しており、ゴミ収集処理をはじめ、し尿処理への負担金も含めて健康で明るい町民生活を支えます。なお、国保会計へ六百五十万円の繰出し、水道事業会計へ二千九百九十万七千円を出資しています。

このほか、夜間の安全を確保するため、鹿塙ほかに六灯の街路灯を設置します。

また、経済社会の急激な発展に伴い、廃棄物の処理はますます悪化しており、ゴミ収集処理をはじめ、し尿処理への負担金も含めて健康で明るい町民生活を支えます。なお、国保会計へ六百五十万円の繰出し、水道事業会計へ二千九百九十万七千円を出資しています。

本町の消防活動は、関係機関の努力によって、防災思想の強化と徹底など町民生活の安定と治安維持に大きな役割りを果たしています。

・消防関係

防火用水を新設

ます。

本年度は、国道、県道を基幹とした生活圈道路の整備という方向で見持線の新設をはじめ継続改良を重点的に運めるほか、神坂線、浦町線、笛洞線などの舗装と新設を計画しています。

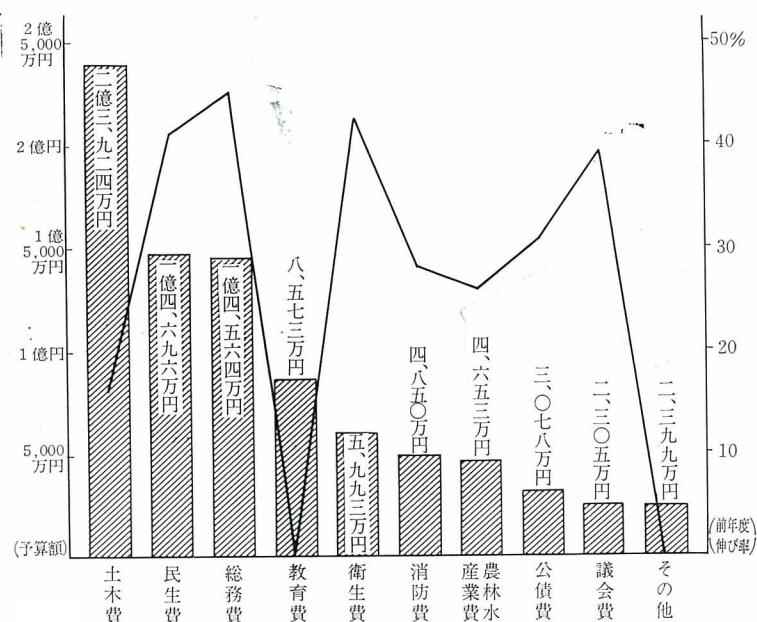
本年度も防火体制を一層強化するため町内三ヶ所に防火用水を新設します。

そのほか可茂消防事務組合はじめ消防関係協会などへの負担金補助金も増額計上しています。

・教育振興

学校統合の推進を基本姿勢に

歳出の内訳



本町の消防活動は、関係機関の努力によって、防災思想の強化と徹底など町民生活の安定と治安維持に大きな役割りを果たしています。

・教育振興

学校統合の推進を基本姿勢に

町勢発展の基本は人づくりです
学校教育と社会教育、そして保健
体育の向上を図り、優れた知性、
豊かな情操、強い体力を兼ね備え
た健康で明るい人材の育成に努力
します。

町長の所信表明にもあるように
本年度は学校統合の推進を基本姿
勢として、具体的な推進方法を検
討して行きます。さしあたり本年
は学校用地測量調査費などを計上
しています。

そのほか、教員住宅の老朽化に
伴い、新しい教員住宅の建設費が
見込まれています。
また、社会教育の充実を図るた
め社会教育指導員の常置について
検討を進めています。
青少年を健全で心身ともにバラ
ンスのとれた社会人に育て上げる
ことも社会教育の大切な仕事です
そのため、山楠に青少年のための
キャンプ場を造成し、バンガロー

を五戸建設して青少年の健全育成
に努めます。

・川辺町基本構想

土地開発公社
を設立

本年度予算の根幹となるものは
「川辺町基本構想」です。この構
想は、川辺町の将来を考え、「明
るく、豊かな、住みよい町」をつ
くり上げるために必要な施策の概
要を定め、総合的、計画的な行政
運営を図ることを目的としていま
す。基本構想の実現のために、町
は土地開発公社設立の計画を進め
ています。

土地開発公社は、公共用地など
の取得、管理、処分等を行うこと
によって川辺町の秩序ある整備と
運営を図ることを目的としていま
す。基本構想の実現のために、町
は土地開発公社設立の計画を進め
ています。

特別会計のあらまし

・国民健康保険会計

療養給付費などを
計上

国民健康保険会計の本年度予算
は一億二千九百七十五万三千円で
昨年当初に比べて三六・五%の増
額になっています。

財源の内訳をみると、国民健
康保険税三千五百六十万円、国庫
支出金七千六百五十六万五千円、
一般会計からの繰入金六百五十万
円、繰越金一千百万円などとなっ
ており、とくに保険税については
昨年度より二九・六%の増額を見
ています。

込んでいます。

町のみなさんの健康を守るために
使われる歳出については、療養
給付費が一億一千百四万九千円で
になっていて、このほか高額療
養費の負担に四百九十八万六千円
また、助産費（一件当たり二万円）
葬祭費、育児手当（それぞれ一件
当たり六千円）などを計上していま
す。

・学校給食共同調理場会計

物価上昇により給食
用物資を増額

学校給食共同調理場会計予算は
前年度当初を百二十五万八千円上

回る三千八百七十五万四千円が計
上されました。

歳入については、最近の物価の
上昇から学校給食の運営がむづか
しく、給食費を値上げしたため前
年度を百二十五万八千円上回る三
千八百七十三万八千円を給食費収
入として計上しました。

また歳出についても、原材料費
の値上がりに伴い、前年度予算を
百二十五万七千円上回る原材料費
を計上しました。

水道事業会計のあらまし

昭和五十年度の水道事業会計の
予算は、二億七千九百六十九万七
千円で、昨年度予算より一億二千
三百六十六万五千円上回っています。
これは伸び率にして七九・三
%のアップで、大幅な伸びを示し

ています。

・農業共済会計

水稻共済の充実を
図る

農業共済会計の予算は、一千百
五六十万六千円で、前年度より約
五%、金額にして五十七万七千円
の増額になっています。

歳入では、水稻、蚕繭、家畜の
掛金が百六十八万三千円、水稻、
蚕繭、死廃、病傷の保険金が百六
六千円、一般会計からの繰入金が
五十二万四千円、そして前年度分
からの繰越金が二百万七千円など
などとなっています。

また歳出では、水稻、蚕繭、死
廃、病傷の共済金が三百七万九千
円、予備費が二百三万二千円など
となっていて、このうちの三百三
万円は、水稻共済の充実を図るため
のものであります。

他の 商工業の振興を 推進

町のみなさんの福祉の向上に寄与
することを目的とするものです。
なお「川辺町基本構想」について
は、近いうちに号外を発行して
詳しくご紹介する予定です。

蚕繭、死廃、病傷の保険金が百六
十四万七千円、県から支出される
共済事務費負担金が四百四十六万
六千円、一般会計からの繰入金が
五十二万四千円、そして前年度分
からの繰越金が二百万七千円など
などとなっています。

また歳出では、水稻、蚕繭、死
廃、病傷の共済金が三百七万九千
円、予備費が二百三万二千円など
となっていて、このうちの三百三
万円は、水稻共済の充実を図るため
のものであります。

昭和50年5月10日発行

学校給食共同調理場食計 (単位千円)

歳入	歳出
事業収入	事業費
38,738	38,754
諸収入	6
総額	38,754
計	38,754

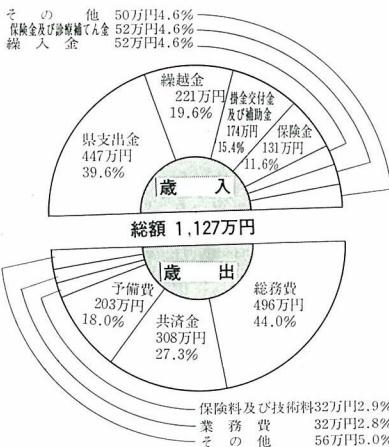
公営企業水道会計

資本的収入及び支出 (単位千円)

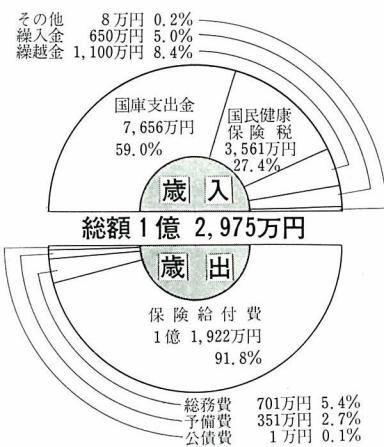
収入	支出
企業債 184,100	建設改良費 253,272
出資金 29,907	企業債償還金 26,425
分担金 4,740	
工事分担金 60,950	
計 279,697	計 279,697

特別会計

農業共済会計



国民健康保険会計



そのほか決まりたこと

第一回定例会

川辺町職員の定数条例の一部を改正する条例

十五年末満の場合

上水道事業会計の、企業会計への移行に伴い新しく企業職員六名を追加し、全職員数を九十名から百五名としました。

川辺町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

川辺町消防団員等の公務災害補償額が次のように改められました。

川辺町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路占用料金が次のように改められました。

川辺町職員の定数条例の一部を改正する条例

上水道事業会計の、企業会計への移行に伴い新しく企業職員六名を追加し、全職員数を九十名から百五名としました。

川辺町消防団員等公務災害補償額が次のように改められました。

川辺町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路占用料金が次のように改められました。

川辺町保育所保育料徴収規則

の一部を改正する規則

昨年度から「川辺町保育所保育料徴収規則」を定め、それに

よつて保育料を徴収していますが、その規則に所要の改正がさ

れました。

昭和四十九年度補正予算について

▲一般会計▽

歳入歳出に三千四百三十八万円を追加し、予算総額をそれぞれ八億二千六百七十九万円としました。

おもな内訳は、財政調整基金の積立金に六千百五十四万円、県信用保証協会出損金として、二十四万九千円、地方バス路線維持補助金十四万八千百十円などとなつており、見持線用地費千六百万円などが減額されています。

△国民健康保険会計▽

国保会計は七十二万五千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ九千七百七十二万五千円としました。補正内容は、高額療養費の負担金四百九十八万六千円、助産費の負担金百二十万円などです。

△水道事業会計▽

出資金百十三万一千円、分担金五十八万二千円などの減額補正によつて、予算総額は一億五千四百三十一万九千円になりま

した。

農地転用の取り扱いが厳しくな
ったことは、昭和四十九年十月発
行の「広報かわべ」七十四号でお
知らせし、取り扱いについての改
正点も掲載しておきましたので今
回は農地転用許可の手続きについ
てお知らせします。

川辺町では、現在木曾川右岸用
水事業に伴う県営ほ場整備事業等
が行われ、国より多額の補助が投
入されつつあり、中川辺及び西柄
井の一部の、都市計画法に基づく
用途区域内を除き、すべての農地
が農用地区域除外手手続きを伴う農
地転用区域に該当します。

農地転用手手続きの順序は、図の
ように、まず農用地区域除外事前
調整手続きをし、それを完了した
ものについて農地転用許可手続き
をします。

なお、農用地よりの除外手続き
は、個人より願書が出たつど提出
するのではなく、年に一~二回町
でまとめて県へ提出することにな
っています。五十年度は十二月、
五十一年度は六月、十二月に提出
する予定です。

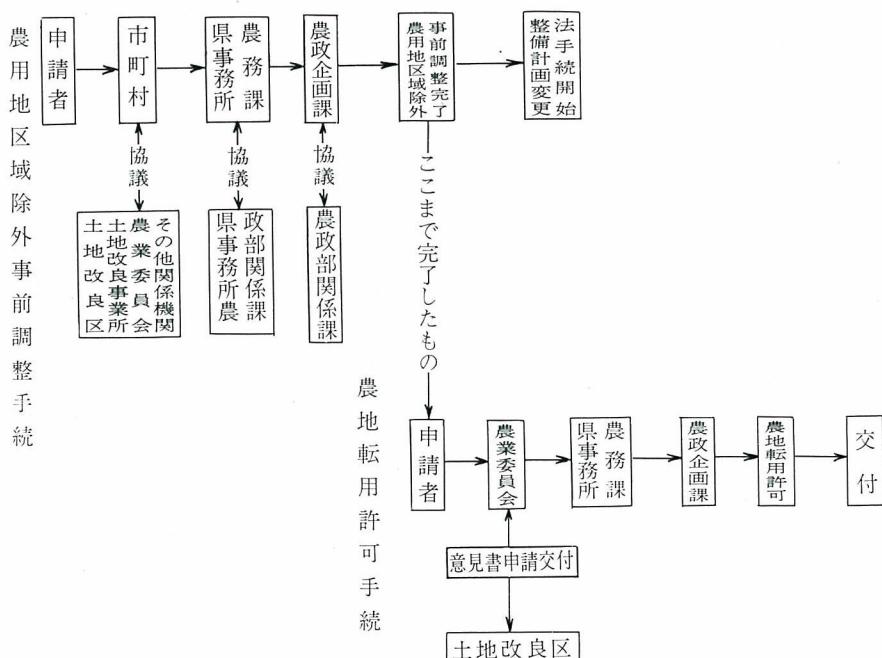
詳しいことは、町産業課までお
たずねください。

ごぞんじですか

農地転用の

許可手続き

農地転用手続系統図



おしゃらせコーナー

新しい図長さんが
決まりました

みなさんの代表として選ばれた新しい団長さんが決まりましたので、紹介します。

なお、前団長さんははじめ組長さんにはなにかとご苦労いただきました大変ありがとうございました。

先月号でお知らせしたし尿の汲みとり予定に一部変更がありましたので、次のように訂正します。なお、この順序での汲みとりは五月一日から実施されま

し尿汲みとり予定
変更のお知らせ

古文書読み方講習会のお知らせ

レポート

第三回 東海洋上セミナーに参加して

西栢井／山田一雄
下川辺／嶺川恵里子

今回、私達は第三回東海青年洋上セミナーの一員として、ソ連船「ハバロフスク号」で二月六日～二月十六日までの十泊十一日間の沖縄、フィリピンの研修に参加さ

戦争を知らない私達ですが、この時は胸にジーンとなるものがあり、冥福を祈り「平和」というものを痛感せずにいられませんでした。

この研修の目的は、「国際的視野を広め日本を正しく理解する」「船内生活を活発に行う」というものです。

世界へ目を向けようなどと口では言いながらも、現実に外国へ訪ずれるチャンスがなかった私達ですが、この洋上セミナーは勉強させていただくよい機会でした。

洋上セミナーでの多くの体験の中で、船上戦没者慰霊式が行われ、「海ゆかば水くかばね、山ゆかば草むすかばね……」と曲が流れ私も合唱しました。

このわずか十日間が私達に与えられた数多くの貴重な体験は、それぞれ個々の受け止め方に多少の差異はあります、永遠に心に刻みこまれていると思います。そして私達にとって異国というものは、ものすごく遠い所と感じていたのですが、身近に感じて、そこには私達と同じ若者が精一杯生きていると思うと、より一層身近に感じました。



色とりどりの民族衣装をつけて はなやかに行われた交歓会

カメラルボ

3月頃から下麻生の民家近くに猿が出没、近所の人の話題になっています。30匹余りいると思われる猿の群れは、最初加藤亮一さん宅裏のたんぼに現われていましたが、間もなく大雄寺近くの山に移動、人々自適の生活をおくっています。



サル君現わる

去る4月6日の日曜日、鹿塩婦人消防隊のみなさんが消防団員の指導でポンプの扱い方や消火器の使用法などの講習を受けました。

家庭の留守をあ
ずかる主婦の方達
だけに、指導を受
けるまなざしにも
熱心なものがあり
ました。



張り切る婦人消防隊

戦傷病者等援護の 移動相談室を開設

町史編さん室では、「古文書の読み方講習会」を開設しました。現在十名ぐらいの方が、参加して学習してみえますが、もつとたくさんの方に古文書の読み方を知つてもらいたいと考えています。この講習会に出席したいと思ってみえる方は川辺町役場教育委員会までお申し込みください。

戦傷病者、戦没者遺族、旧軍人、軍属等の方々の給付金は、それだけに該当する方が請求されることによつて支給されます。しかし、これらに関する法令は、一般的になじみがうすいため、法改正などにより対象範囲の拡大、支給条件の緩和などが行われても、それを知らないでまだ請求されてみえない方がたくさんおありますことと思います。そのため、このほど広く一般の方々に法改正の内容などを知つていただくため、次のように移動相談室を開くことになりましたのでみなさんのおこしをお待ちしております。

△対象者 戰傷病者、戦没者遺族等で援護に関する疑問を有する方など

△日 時 五月二十六日（月）午前九時～午後三時

▽場 所 加茂県事務所大会議室

文書は旗本大島家のもの、笠松代官所下川辺関係のものと考えておりましたが、それ以外の貴重な古文書類約三百点が各町内から寄せられております。

これらを大別すると、
・神社、寺院等の宗門類
・村定め、土地騒動
・年貢米、借用金子証文
・川普請、溜池改築と水論
・日常生活と冠婚葬祭

川辺町の歴史は、史料・通史民俗の三分冊で刊行の予定となつております。そして現在史料編の編さんを行つております。



りより
だ室さん
町史編さん
—その3—

編さん室発足当時、川辺町の古文書は旗本大島家のもの、笠松代官所下川辺関係のものと考えておりましたが、それ以外の貴重な古文書類約三百点が各町内から寄せられております。

これらを大別すると、

・神社、寺院等の宗門類

・年貢米、借用金子証文

・川普請、溜池改築と水論

・日常生活と冠婚葬祭

となつております。

特に農業を中心であった当時の生活は、干ばつと風水害に人々の苦勞があり、用水と作物の出来高

調査を終わると、個人で所有され

ておられる古文書類の調査にはい

ります。そして現在史料編の編さんを行つております。

一枚の古文書にも人生の悲劇を

めぐる幾多の人々の心が記録され

ております。それをお読みするた

びに、先人の築いた礎が容易に想

像できます。

一枚の古文書にも人生の悲劇をめぐる幾多の人々の心が記録されあります。それを解説するた

ままで納めなければならない厳しい農民の生活も記録されています。

そのほかにも、今日では絶えて久しい種々の風俗が詳しくえがかれています。それを解説するた

めます。

(町史編さん委員、木下尚年)

ご成長をお祈りします

(三月中の届け出)

〔出生〕

おめでた おくやみ



活発な活動を続ける町史編さん室

わたしたちの作品

「夕映えの高千穂の峯仰ぎつゝ
あゝ悠遠」を歌うひととき
間で汚れが落ちます。これで約二
十秒の水が節約できます。

灌物や食器を洗うときは、洗
剤は多すぎないようにしましよう
洗剤が多すぎると、すぐによく
くさんの水を使うことになります
化織品の汚れは
早く落ちます

私達が着ている衣料の大部分は
化学織維です。この化織品は、木
綿ものに比べると約二分少ない時
間で汚れが落ちます。これで約二
十秒の水が節約できます。

「夕映えの高千穂の峯仰ぎつゝ
あゝ悠遠」を歌うひととき
間で汚れが落ちます。これで約二
十秒の水が節約できます。



広報モ

すぎたるは
及ばざるがごとし

洗濯物や食器を洗うときは、洗

剤は多すぎないようにしましよう

洗剤が多すぎると、すぐによく

くさんの水を使うことになります

化織品の汚れは
早く落ちます

一番に海渡り来しつばくろか
工事現場の泥はこび行く 肥田 良一
哀調に伝説秘めて鶴の鳴く
まだ明けきらぬ朝のじよまに 神田 繁子

○野は息吹く我に不況の嵐來ぬ
愚痴を捨てたし夜の静寂に 井戸 正二

○今昔の唄懐かき夜の銀座
柳並木にネオン煙るる

○片隅に捨て置かされし古桶の
崩れしままに菜の花咲けり

○産院は静かに更けて宵宮の
囁子の響き遠くに聞こゆ 前島 政平

○しまい湯を焚きているさえ奢りとも
思ひ乏しき生活に育ちて 前島 一代

○ふくらめる柳の枝を活け終えし
朝の厨に水ほど走る 小島みき子

○宮祭り乞食人形の赤飯に
晴着の袖が奪いもつるる 黒岩 栄子

○植樹の手休めて見上ぐる大空を
鳶は大きく輪を描き舞う 村瀬 正子

謹んでおくやみ申し上げます

死

亡

福島	比久見	上川辺	市原まさよ
井上おけん	井戸	鹿塙	井戸 ぎん
	中川辺	紅谷じよう	
	井戸	加藤おてい	
	小沢志やう	片山 とも	
	小栗きみ	小栗 きみ	
	加藤すへ	加藤すへ	

85 68 66 87 90 82 86 79 91 歳
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃